JASE
現代性教育研究ジャーナル
MONTHLY JOURNAL of SEX EDUCATION TODAY

2024年
No. 156
2024年3月15日（毎月15日）発行

日本性教育協会
THE JAPANESE ASSOCIATION FOR SEX EDUCATION

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-3冨山房ビル５階 Tel.03-5801-6788 Mail info_jase@faje.or.jp URL https://www.jase.faje.or.jp 発行人 石川哲也 編集人 小澤洋美
© JASE. 2024 All Rights Reserved. 本ホームページに掲載している文章、写真等すべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。

contents

ベルギーの日常と性意識、性の専門分野…… 1
わたしたちの性教育アクション⑫…… 8
多様な性のゆくえ㉝…… 9
出会いは世界を広げていく⑫…… 10
今月のブックガイド…… 11
JASEインフォメーション …… 12

ベルギーの日常と性意識、性の専門分野

心理士・性セラピスト 川瀬 まり

はじめに

私は現在、ベルギーで心理士・性セラピストとして働きながら国、文化、言葉、人種などが異なる組み合わせであるミックスカップルの研究をしています。

「ベルギー」と聞いても、多くの人はチョコレートやワッフル（最近ではサッカーも？）を思い浮かべるくらいではないでしょうか。しかし、この微妙に地味な国は、意外と大胆で自由な国でもあるのです。今回はこの国に住んで17年目の私から見た、ベルギーに住む人々の性意識と性の専門職制度について紹介させていただきます。

はじめに少し長くなりますが、ベルギーという国やそこに住む人々の特徴についてお話しさせてください。なぜなら生活背景や特徴を知らずに、そこに住む人たちの（性に限らず）意識の持ち方を正しく理解することは難しいからです。続いて、ベルギーの性意識に関して私には少し意外だった、昨年国内を騒がせた出来事に触れ、その後に今回のメインである性の専門職 Sexologue のシステムや実際の利用についてお伝えします。

ベルギーという国、そこに住む人々

多様性に満ちた小国、ベルギー

ベルギーは人口が東京よりも少なく、わずか1200万人に満たない小さな国です。にもかかわらず、公用語はフランス語、オランダ語の方言であるフラマン語、ドイツ語と３つあり、しかもフランス語圏とオランダ語圏の人たちは喧嘩ばかりしています。

様々な出身国の人たちが住んでおり、Statbel (2023)[(1)] によると最初からベルギー国籍を持っていた人は全体の65.5%、後にベルギー国籍を取得した人は21.0%、ベルギー国籍を持たない人は13.4%と小国ながら国際色豊かです。EU の拠点でもある首都ブリュッセルでは外国人が36.9%とさらに増えます。

日本では二重国籍が認められていないため単純な比較ができませんが、日本は、毎年の帰化人数が約１万

人（法務省，2023）[2]、総人口に占める外国人の割合は2.2%（総務省統計局，2020）[3]。比較すると、違いがよくわかると思います。

「違っていて当たり前」の意識

「国際色豊か」というと何かポジティブな雰囲気が醸し出されますが、実際住んで感じるのは、良くも悪くも「違っていて当たり前」という感覚です。そのため完璧を求める代わりにできることを模索する、選択の自由をつくっておく習慣が、自然にできたのだと思います。完璧を求めるよりそのとき良いと思ったことを行い、必要なら後に修正するほうが効率よかったのだろうと解釈しています。

「違っていて当たり前」の例として、誰かとコミュニケーションを取る際に、まず相手が何語を話すかを知るところから入ります。私が登録している心理士協会（Commission des psychologues）と性セラピスト学会（SSUB）の検索サイトでも対応言語から専門家を探すことができます。好奇心から今年初めに言語の選択肢を見てみたら39言語ありました。スペイン語に加えてバスク語、カタロニア語の選択肢がありましたし、中国語も北京語、広東語で選ぶことができました。フランス語とフラマン語の手話もありました。

生き方の自由と多様性

違っていて当たり前、という前提では自然と自由度が高くなります。たとえば同性婚はオランダに次ぐ速さで2003年に合法化されています。2017年からはトランスジェンダーの人が健康保険を使って、15回の心理カウンセリングとホルモン治療を受けることができるようになりました。

ここで一つ、私がベルギーに来て間もない頃に性の自由を実感したエピソードも紹介しておきたいと思います。それは15年ほど前、ベルギーで最初に大学の講義を受けた日のことです。大部分が20代前半の子たちの中で、たまたま私と似たような年齢の女性を見つけて横に座りました。仮名をソフィーとしておきます。自己紹介をしあって雑談を始めると、ソフィーはごく自然に自分の彼女の話をしたのです。さらに数か月後には「一緒に子供を持つことにした」と嬉しそうに話してくれました。

同姓婚に限らず、親になりたいと思ったら精子提供を受けて親になることが、さほど抵抗なく受け入れられている社会であることも付け加えておく必要があるかもしれません。「母親になりたいから」と精子提供を受けて一人で母親になった女性を一人知っています。彼女は会社へ報告し、周りの同僚から祝福を受け、その後も他の親と同じように子供の成長について愚痴を言い合い、励まし合っています。

カップル、夫婦、家族の固定観念が薄いという言い方もできると思います。昨今は世界規模で薄くなっていますが、少し前まで日本で「カップル」と聞いたら、自然に男女の組み合わせを想像したのではないでしょうか？　私はベルギー人・日本人カップルについて研究しているのですが、研究対象に同性カップルは含まれていないため、「異性カップル」と表記する必要性をすぐに指摘されました（研究の便宜上、異性カップルに限定しただけで偏見など一切ありません。誤解されることがあったので念の為）。

さらに性別の話をするなら、現在オフィシャルな文書で性別の選択欄をなくす話し合いが進んでいるようです。ここでも「とりあえずやってみよう」という姿勢を感じます。

ベルギーの「違っていて当たり前」を表す例は他にもいくつかあります。ジェンダーに限らず家族、カップルのことはあくまで当事者間の問題とみなされ、老年でも歳の差があっても、お互いが望めば熱いカップルが誕生します。子供がいる場合も、親であることと、子供の父親・母親以外と新たにパートナーシップを築くことは両立するという認識のもと、パッチワーク家族が多く誕生しています（離婚前後の当人たちや子供たちへの支援体制は整っており、パンフレットや冊子、無料や格安でカウンセリングやアドバイスを受けることができる場所も用意されています。小学校で親の離婚についてディスカッションをする場合もあります）。不倫や浮気もあくまでカップル間の問題とみなされ、慰謝料はパートナーにしか請求できません。

生死の選択も条件がそろえば自分ですることができます。安楽死はスイス、オランダに次いで2002年に合法化されています。

教育分野では、進級が相応しくないと判断されれば小学校から留年します。留年する子は毎年クラスに一人か二人いて、本人も周りも問題なく受け入れているように見えます。

自分の考えや感情を表すことに迷いがないというのも、日本との明らかな違いの一つです。こちらも違っていて当然という考えが根底にあるからだと思います。車を運転していると、クラクションを鳴らす人が多くて閉口します。声を荒げたかと思うと数秒後にケロッとしているのも、今は慣れましたが最初は戸惑いました。

以上、日本人の私から見たベルギーの特徴を書いてみました。

余談ですが、グローバリゼーションが進んだことで、西洋人とアジア人の意識の差が小さくなっていることを実感しています。たとえば、いじめの問題はヨーロッパでも大きく議論されるようになりましたし、若者の草食化、結婚への興味の薄れ、ヘリコプターペアレンツ(注)の増加（子供中心）など話題を共有できるようになってきています。

EVRAS 騒動

そのベルギーで性はどのように捉えられ扱われているのでしょうか。

性に対しても日本と比べてオープンで自由だと思われることでしょう。それは間違いないと思います（性産業については日本が圧勝）。一方で性は個人的なもの。本人の性質、育った環境などで違って当然で、国ごとにカテゴライズする場合は注意が必要です。ちなみにベルギーはカトリック教徒やイスラム教徒が多く、信仰厚い家庭ほど性に対しては保守的です。

性のテーマは複雑・繊細であることを実感する出来事が、昨年起こりました。2023 年 9 月からの義務教育における EVRAS の実施です。EVRAS とは Éducation à la Vie Relationnelle, Affective et Sexuelle の略で、人間関係、感情、および性に関する教育を意味します。これが公表されるや否や、ベルギー全体で大論争となりました。性教育を小学校から行うことに反対や疑問を寄せる人がいたからです。本来「人間関係、感情、および性に関する教育」なのですが、人間関係、感情の部分はあたかも忘れ去られたかのようでした。

メディアでも連日議論が交わされ、反対運動の様子が報道されました。反対派の意見はいくつかありますが、私が見ていた限り大きく 3 つのグループに分けられるようでした。小学生での性教育は早すぎる、不要であるという人たち。性教育は各家庭がそれぞれのタイミングで行うべきという人たち。そして性教育の内容についてフェイクニュースを信じて反対する人たちです。

NON EVRAS のデモ　　ⓒ RTBF

いつものようにデモが行われました。今回深刻だったのは、反対派の人たちによって複数の学校に火がつけられたことです。これはベルギーでも驚きをもって受け止められました。私もどう考えても行き過ぎだと思いましたが、良くも悪くも思ったことを表明し行動するベルギーらしさをそこに見たのも事実です（今回は悪いかたちで出たわけです）。

結局、現在も EVRAS は続いており、私の息子も学校から性教育に関する案内を受け取りました。個人的には、いままで義務教育に取り入れられていなかったことに驚きました。息子は小学校 5 年生の時、既に性に関する授業を受けていたのですが、2023 年以前は各学校の裁量に委ねられていたようです。

カップル

広く知られているように欧米ではカップルが生活の基本単位です。子供がいる場合、日本を含めたアジアの国では親役割にアクセントが、欧米では夫婦にアクセントを置いたカップル形態が多いと言われています。

カップルが生活の基本単位であるからか、こちらでは望むと望まざるとに関わらず無意識にパートナー（シップ）について想いを巡らせる時間が多いと感じます。結果、大切なものと認識され、その大切な関係の維持に性は不可欠なものとして考えられてきました。近年はステレオタイプが薄れて各カップルが自分たちの満足を求める傾向が強まっていますが、それで

ⓒ Brandon Roberts／Pixabay

もまだ根強くあります。

日本では年齢を重ねるにつれて性的関係が減少することが、一般的には自然な過程として受け入れられているのではないでしょうか？　羞恥心や嫌悪感を感じる人もいるようです。一方ベルギーでは、性的関係の継続は基本的にカップルが望むまで。60代や70代であっても、「パートナーが望むなら、それに応えるべき」、そのための努力はしなければいけない、と考えるのが一般的なようです。

性の専門教育

性カウンセリングシステム：心理カウンセリングシステムと比べて

性カウンセリングは日本と比べるとアクセスしやすい一方で、心理カウンセリングほど一般的ではありません。性カウンセリングは性の問題を抱えた人のためだけにあるのではなく、自分の性をもっと充実させたい人や、性に関係あるテーマで話したい人全体を対象としています。身体の健康、心の健康、性の健康、自分の中に疑問が生まれたら、気になったら専門家の所へ行くのが本来のあり方だと思うのですが、性の健康だけフットワークが重くなるのはこちらも同じです。

社会制度も、心理カウンセリングは以前から保険会社ごとに部分払い戻しが行われており、2022年からは基本的に年8回保険が適用できるようになりました。一方で性カウンセリングはようやく今年から保険会社の一つが部分払い戻しを始めたに過ぎません（フランドル地方の保険会社の一つは、2017年からシニア層と障がいを持つ人たちを対象に一部払い戻しを始めています）。

性科学

ここからは、性に関する制度や専門性についてご紹介していきたいと思います。

性の専門家はどこかの段階で性科学を学びます。性科学は日本ではあまり聞きなれない言葉かもしれません。はじまりはドイツで、1919年に性科学の研究所ができたのが最初と言われています。

大学で最初に授業が行われたのはウィーンで1920年代のこと。1961年にはベルギーのルーヴァン・カトリック大学（KUL／UCL）が、「家族と性の科学」の修士課程を設けています。1970年代にはWHOも性科学に関心を示しはじめました。1974年には性の健康を心、身体、社会の健康状態の一つとして認め、1975年には性科学と性の問題を扱うための文書を公開しています。2003年にはUCLが「University Certificate」を設け、2012年にはカナダで性科学の博士課程が始まりました。

ベルギーでは2016年の時点でフランス語圏、フラマン語圏合わせて計7つの大学が性科学を教えています（Conseil supérieur de la santé, 2016）[4]。

ベルギーで性の専門家Sexologueになるには

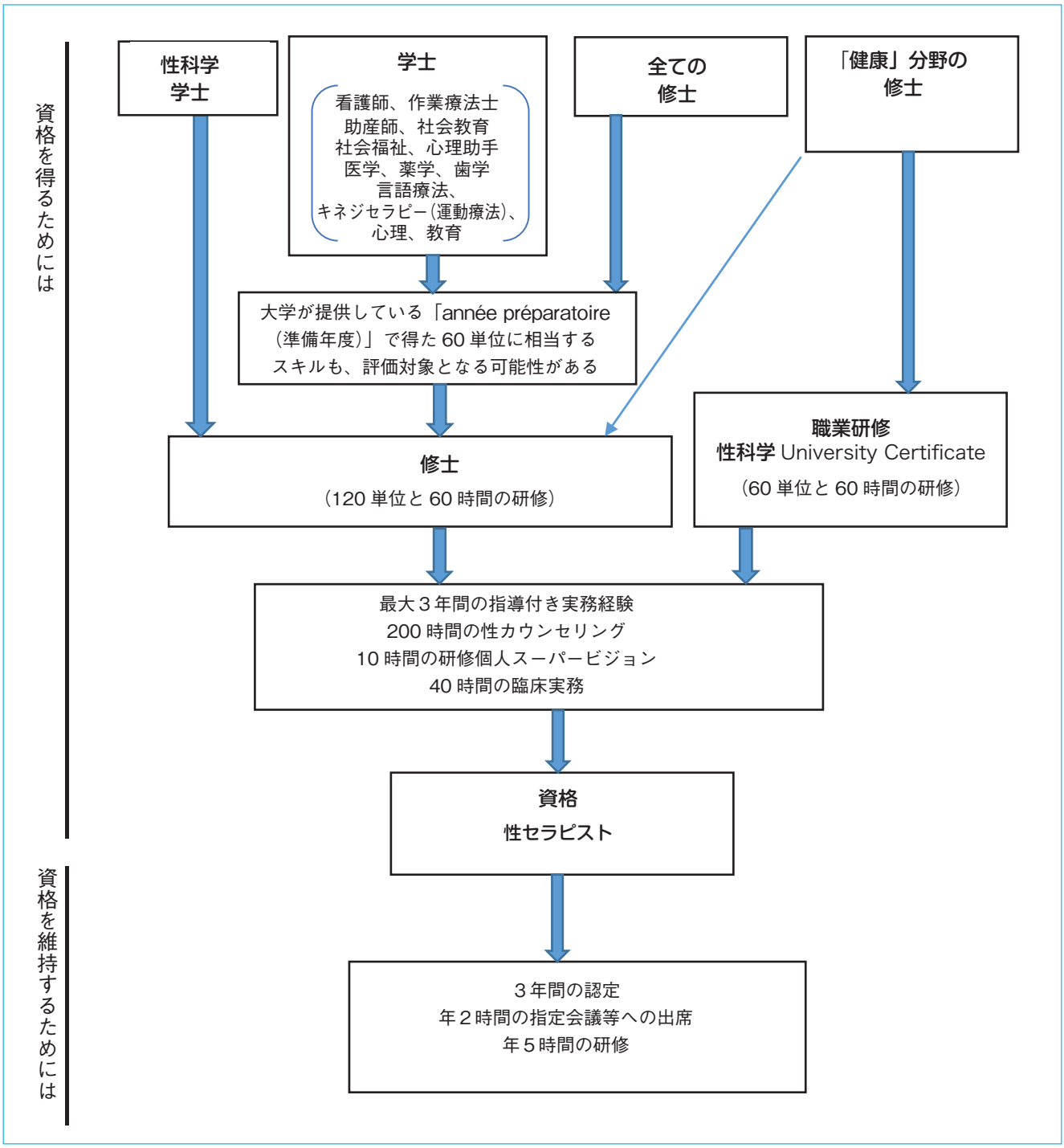
現在、性の専門職を国家資格と認めている国はまだないようですが、カナダのケベック州やアメリカのフロリダ州など一部の州では認められています。ベルギーでSexologueを国家資格にするための動きは2004年からが始まっており、一旦却下されたものの2017年に話し合いが再開され、現在も進行中です。

Sexologueについてフランス語圏はSSUB（Société des sexologues universitaires de Belgique）[5]が、フラマン語圏はVVS（Vlaamse Vereniging voor Seksuologie）[6]が統括しており、政府との交渉もこの2団体が行っています。Sexologueの養成システムも国規模でほぼ統一されてきました（Conseil supérieur de la santé, 2016）[4]。

私は心理士としてUniversity Certificateの1年コースを受けた後、3年以上の実務経験を経て、SSUBに正式メンバーとして登録しています。

ここに登録しているSexologueであれば、前述の保険会社の一部払い戻しを申請することができま

性セラピスト資格取得のための教育過程図



す。ただ、ベルギーで Sexologue という専門性が完全に保証されていないため、誰でも性セラピストを名乗ることができるのが実状です。

授業内容：私が学んだUniversity Certificateを例に

大学で習う性科学とはどのようなものなのか。参考までに私が学んだ UCL の University Certificate の講義内容 [7] は次ページの囲みの通りです。

ご覧のように幅広く学べる内容となっています。「性」は性欲・性嗜好や性行為の問題だけではないことを確認できます。

臨床では医師や助産師による医学関連の講義が役立っています。また、自分が無自覚に持っていた固定観念に気づけたことに満足しています。大っぴらに話されることの少ない分野であるため、個々の認識に偏りが生まれても不思議ではありません。だからこそ学ぶ

臨床性科学の基本

（性欲の問題、痛み、オーガズム、性嫌悪症、性機能障害、等）
性医学
認知行動療法に基づく性療法
性機能療法
トランスジェンダー
個人の性的情報収集とエロティック・イマジネーション：具体的なツール
性療法への EMDR の適用
性療法へのマインドフルネスの適用
性療法へのソフロロジーの適用
性療法への催眠の適用
非言語コミュニケーション
射精障害
セクシュアリティと親子関係
身体と性
慢性疾患および喫煙ステータスが性健康に与える影響と対処
不妊症と医学的補助的生殖医療（PMA）
性における自己信頼感
カップルセラピー：システミックアプローチ
性依存・中毒
ケーススタディー

ことで自分の偏りに気づき、できる限りニュートラルで視野の広い考えを持つよう絶えず注意しなければいけない。これは私にとって価値ある学びでした。

上記プログラムは講義形式、グループ形式、ディスカッション形式を交えて行われ、最終的にレポートと口頭試験で及第点を取れば University Certificate 取得となります。

先にも書きましたが、心理カウンセリングはかなり市民権を得ています。心理士（Psychologue）のことを「プシ」と呼び、「プシの所に行きなよ」、「わたしのプシがね」など普段も気軽に話します。性カウンセリングはそうはいきません。ベルギーでも大っぴらに話せるテーマではなく、自分の性の問題となるとさらに勇気が要ります。正直に言うと初回から性カウンセリングを希望して私の相談室を訪れた人は、10 年の臨床経験の中で数えるほどしかいませんでした。

ただ、嬉しいことに年々抵抗が少なくなっていることを肌で感じています。心理カウンセリングで来談した方が、私を選んだ理由を「性セラピストもしているから」だと話し、そこから性の問題や悩みを語ってくれるケースが増えています。

性の問題や疑問を人に話す・話さないはその人が決めることです。ただ、性について困った時、信頼できる家族や友人、専門家に話すことで解決しやすいのも事実。恥ずかしいからこそ、話しにくいからこそ、周りから「これは大事なテーマなんだ」、「話していいんだ」と伝えていく必要があるのだと思います。特に専門家は守秘義務があります。困り感があるなら、話しに行く理由はそれだけで十分です。とりあえず自分が「ここかな？」と思った所へ行ってみてください。より適切な場所があると思えば、そこで別の場所を提案してくれるはずです。「ここで間違ってないかな？」、「こんな事で行っていいのかな？」という心配は無用なのです。

実際に助けを得るプロセス

実際に性の悩みや疑問があった場合、いくつかの相談先があります。まずは先述の SSUB などから直接性セラピストに連絡すること。他によくあるのは、心理士やホームドクターに相談し、必要または有益と判断された場合に性カウンセリングを勧められることです。性セラピストを兼ねている心理士は多いので、心理カウンセリングで予約して、性カウンセリングに変更することができます。

他に、街や区ごとに存在する Planning familial（フランス語圏）、CAW（オランダ語圏）に行く選択もあります。ここでは法関連の悩み、親子関連の悩み、カップル関連の悩み、個人の悩みに対して、低価格で専門家からのアドバイスがもらえます。心理ケア付きで中絶も可能で、未成年が親の同意なく 4 ユーロで中絶ができることを知ったときは驚きました。

日本では親の同意が必要ですし、安くても 10 万円以上の中絶費がかかります。こんな簡単に中絶できるのは未成年にとってよいことなのだろうかという疑問も湧きますが、中絶の決断も専門家が寄り添いながら行います。未成年者の中絶を心配する気持ちは日本とベルギーで同じでも、このように対応が異なることは興味深いと感じます。ほかにも LGBTQ、性被害、性的虐待、DV など専門ごとにたくさんの援助団体が相談を受け付けています。

おわりに

日本人から見たベルギーの日常、性の意識と専門分野について書かせていただきました。私はドイツとフランスにも住んだことがありますが、陸続きの隣国であるにもかかわらず、国を替えた時はしっかりカルチャーショックを受けました。

国ごとに問題認識や対応は異なり、性についても同じです。ましてや日本とベルギーは距離的にも文化的にもずいぶんな違いがあります。そんなベルギーという国の性意識や性の専門分野をご紹介することで、ほんのちょっとでも皆さんが持っている固定観念に対して意識を向けるきっかけとなれば嬉しく思います。

また機会があれば、ベルギーでの性カウンセリングの実際についてもご紹介させていただきたいと思います。

【注】ヘリコプターペアレンツ：まさにヘリコプターのように、子供にくっついて過度に監視・保護しようとする親のこと。

以下は本文中で参照されているリンク。

（1）Statbel（2023）
https://statbel.fgov.be/fr/themes/population/structure-de-la-population/origine#:~:text=Diversité%20selon%20l%27origine%20en%20Belgique&text=Au%2001%2F01%2F2023%2C,l%27office%20belge%20de%20statistique
（2）法務省（2023）
https://www.moj.go.jp/MINJI/toukei_t_minj03.html
（3）総務省統計局（2020）
https://www.stat.go.jp/info/today/pdf/180.pdf
（4）Conseilleur de supérieur de la santé（2016）
https://www.health.belgium.be/sites/default/files/uploads/fields/fpshealth_theme_file/css_9333_sexologie_a5_2.pdf
（5）SSUB
https://ssub.be
（6）VVS
https://www.seksuologen-vlaanderen.be
（7）UCL,University Certificate 講義内容
https://cdn.uclouvain.be/cdn-osis/ppe/2023/iufc/Documentation%20programme/SEXO2FC/2023/Programme%20du%20certificat%20en%20sexologie_2023_WEB.pdf

川瀬 まり（かわせ まり）氏のプロフィール

大阪大学人間科学部を卒業後、ベルギーのルーヴァン・カトリック大学心理学部修士課程修了（2012 年）。2015 年、ブリュッセルに相談室を開室。カップルセラピーを行う中で、カップル関係（特にミックスカップル）の難しさと、性のテーマの重要性を実感し、性科学を学ぶ。

ＪＡＳＥ性教育・セクソロジーに関する資料室

資料室について

JASE 資料室は国内外の性教育、性科学等に関する文献資料を収集している開架式資料室です。文献資料の数は約６万点以上、現在も日々、増え続けています。性教育、セクソロジーに関する調査、研究のためにご利用いただけます。人間の性に関心がある方、ぜひ足をお運びください。

資料室利用方法

【閲覧予約】事前に電話で予約が必要〔tel 03-5801-6788〕。貸出業務は行っておりません。
【開室日・時間】月～金曜日しばらくの間 11: 00 ～ 17: 00
【休室日】土・日曜日、祝日、年末年始　※この他、臨時に休室することがあります。
【コピーサービス】コピー料金は用紙サイズにかかわらず１枚 10 円です。著作権法の許容する範囲で行うものとします。
https: //www.jase.faje.or.jp/pub/archive.html

収集文献・資料

→資料検索

統計･調査報告書、ジェンダー･フェミニズム、性教育一般･性教育の歴史的資料、セクソロジー、民俗学･文化人類学・風俗、性研究史・性学史、教科書・指導書・学習指導要領、国内学術誌、国際（海外団体資料・海外学術誌）、高齢者・家族問題、文学・評論・エッセイ・文庫・新書、官公庁資料、JASE 刊行物、映像資料、個人論文、雑誌記事、新聞記事、絵本・写真集、ダイアモンド文庫、団体資料・手引き・白書（都道府県資料、大学関連資料、官公庁資料など）ほか。
https://opac.jp.net/Opac/search.htm?s=NS1JEYq24WsoCGy_N7GNQ_WQaeg

わたしたちの 性教育 アクション

#12

性の健康と権利を支える人をサポートする

2009 年に活動開始

「性の健康イニシアチブ」の前身団体（若者世代にリプロヘルスサービスを届ける会 Link-R）は 2009 年に誕生しました。当時は中高生や大学生、彼らを取り巻く大人に向けた講演、ワークショップ、執筆、イベント企画などを、他団体ともコラボしていました。

2009 年は、UNESCO が包括的セクシュアリティ教育を発表した頃でしたが、日本ではほとんど話題にならず、性教育といえば「妊娠／避妊」、「性感染症予防」といった身体面の話題が主なトピックと認識されていました。団体の性格上、当時から「人間関係」、「コミュニケーション」、「人生をどういうふうに生きていくか」といった観点からも発信をしていたのですが、それらの発信に対して「貴会がやっていることは性教育ではなくキャリアコンサルティングなのでは？」と言われることもありました。

関心の高まりに伴う名称と活動内容の変更

2021 年 1 月に名称を「性の健康イニシアチブ」に変更しました。活動の内容を、思春期世代向けの性教育から、対人援助者向けや性教育に取り組む実践家向けに変更しました。

「どこに行っても性の健康を享受できるように社会環境をアップデートする」という自分たちのミッションを達成するうえで、対人援助者や性教育の実践家へのアプローチが欠かせないと判断したものです。

対人援助者向けのアティチュード（態度）の研修

2021 年に最初に取り組んだのは「対人援助の専門家が性の話題と向き合うためのアティチュード（態度）研修」でした。介護や福祉の専門家、心理カウンセリングの専門家といった対人援助者から「仕事の中で性の話題が出た時に、どう答えてよいのかわからない。とりあえず自分の考えで対応しているけど不安だ」といった相談を聞く機会が以前からありました。この課題に応えるための、「知識」、「技術」の土台にある「価値観・態度」の研修です。

性の健康イニシアチブ

アティチュードとは何を指しているか

初回は 2021 年 6 月～7 月の土曜日の夜に 5 週にわたって連続講座を行いました。当時は COVID-19 の真っ只中のため、オンラインで開催しました。定員を 12 名で募集したところすぐに埋まりました。募集の時点では介護や福祉の現場で働く方や心理カウンセラー等の参加を想定していましたが、児童相談所で働いている方や、少年院を出所した人のその後の支援をしている方など、様々な職種の方が参加してくれました。遠方の県からもご参加いただいたのはオンラインのよさでした。

アティチュード研修はその後、同じ年の 11 月に 4 回連続講座に組み換え、試験的に 2 クール開催しました。このように対人援助の専門家向けの活動からスタートしましたが、性の話題の入口は人間関係であると考えた時に、健康的な人間関係について発信するプロジェクトも行っていきたいと気付くタイミングがありました。次号では、そのプロジェクトのことや今後の展開をまとめたいと思います。　（文責・柳田正芳）

性の健康イニシアチブ
代表　柳田正芳

「社会学」、「心理学」をはじめとした、人文社会科学を学んできたメンバーが中心の組織。「尊厳」、「権利」、「自己決定」、「人間関係」など人文社会科学が深めてきた視点から「性の健康と権利」のためにできることを最大限追究している。
https://sexualhealth-initiative.org

多様な性のゆくえ

One side／No side [83]

宮田 一雄
みやた　かずお
ジャーナリスト。公益財団法人エイズ予防財団理事、特定非営利活動法人エイズ＆ソサエティ研究会議事務局長。

地下鉄の駅で

著名なゲイアクティビストであり、日本 HIV 陽性者ネットワーク JaNP+（ジャンププラス）の創設者でもあった長谷川博史さんは 2022 年 3 月 6 日、東京都内にある図書館の会議室にいた。『二丁目からウロコ』の著者、大塚隆史さんとの対談があったからだ。長谷川さんは翌 7 日に亡くなっている。

プライドハウス東京「文化・歴史・アーカイブ」チームが収録したその対談は、大塚さんによると、二人とも名前に『史』が付くので、昭和・平成のゲイシーンの歴史を語ってみようという企画だったという。

映像の編集作業は対談の企画と制作を担当した編集者、山縣真矢さんが中心になって進め、半年後の 2022 年 9 月に 9 分 40 秒の予告編が YouTube ／ Pride house Tokyo チャンネルで公開されている。

長谷川さんが生きていれば 70 歳の誕生日にあたる日だった。本編も長谷川さんの命日の今年 3 月 7 日に公開されたが、ここでは予告編を紹介しよう。（欄外アドレス参照）。あくまで映像を見た範囲の感想では、長谷川さんは少し疲れているように私には見えた。聞き役に回っていたせいだったのかもしれない。

ところが、いざ自分が話し始めると、言葉に熱がこもり、元気を取り戻していく。話の中身は予告編をご覧いただくとして、私にとって印象深かったのは、長谷川さんが見せた静から動への化学変化の鮮やかさだった。人の、あるいはカメラの、視線を浴び、注目されることがエネルギーになる。そんな場面は過去にも何度かあった。人懐こい笑顔も含め、長谷川さんは最後まで長谷川さんだったと改めて思う。

対談終了後、大塚さんと長谷川さんは地下鉄で帰り新宿駅で別れた。その時の様子は、JaNP+ 公式サイトの特設ページ『故・長谷川博史さん 追悼＆思い出メッセージ』で大塚さんが報告している。

長谷川さんは「最近は自炊がちょっと面倒臭くなっちゃって、小田急の地下に寄って何か出来合いの物を買って帰る」と車内で話していた。

《いつもは自炊してるの？　と返すと、「普通に作るのよ。鳥の炊き込みご飯は割とよく作るかな。」との返事。炊き込みご飯も作るの～と驚くと、「炊き込みご飯を炊くと、おかずを一品減らせるから便利なの。ゴボウのささがきはピーラー使うようになってからチョー簡単よ。」とちょっと自慢げ。地下鉄の中でゴボウのささがきの話をしてるなんて、なんだか主婦の会話ねと笑いあったのでした》

主婦の会話のさりげなさが微笑ましく、今となってはかけがえのないものに思える。

《亡くなる前日にご一緒していた様子をお知らせすることで、長谷川さんが生きて生きて、最後までしっかりと生活をなさっていたことをお伝えしたい》

ありがとう大塚さん。しっかり伝わりました。ホームに降りた長谷川さんに向けて、大塚さんが車内から手を振ると「なんとも優しい笑顔」で手を振り返す。《結局、この時が長谷川さんとの最後のお別れとなってしまったわけですが、僕の脳裏に焼き付いた最後のイメージが、このなんとも言えない優しい笑顔だったのが僕には素晴らしい贈り物になりました》

二人のレジェンドによる別れのシーンは、新宿の地下を走る電車と駅が舞台だった。胸が締め付けられるように切なく、それでいて、読んでいるだけで心が暖かくなる。その場に居合わせなかったほとんどの人にとっても、貴重な贈り物というべきだろう。

山縣さんは、夜遅く長谷川さんに対談のお礼メールを出した。翌朝、確認すると既読になっていたので、読んでくれたことに感謝し、同時に涙が流れたという。

私は翌朝、共通の友人からの電話で訃報を受けた。長谷川さんが倒れて救急車で病院に運ばれたことは以前にも何度かあり、搬送先の病院から救急隊員が直接、私の携帯に電話をかけてきたこともある。着信履歴から順番に電話をし、２番目が私の番号だった。その時も驚異の生命力で回復し、長谷川さんは「また戻って来ちゃったよ」と語っていた。３月６日は話が弾んで予定時間を超過し、HIV に関しては再度、対談の機会を設けることになっていたという。

https://www.youtube.com/watch?v=WUvauM5zHpM

出会いは世界を広げていく

交流会を通して

第12回

土肥いつき DOHI ITSUKI
京都の公立高校教員。24時間一人パレード状態のトランス女性。趣味の交流会運営で右往左往する日々を送っている。

社研で出会った生徒たち

２月号に書いたように、わたしがはじめて担任になった年、入学式当日に新入生の在日コリアン生徒５人を同和部室に集めました。実は、これはわたしの勤務校でははじめての試みで、同和部の教員２人の間でも意見がわかれていました。それでも３人で話しあった結果､「やってみよう」ということになりました。当日、集まりの最後に、「今日集められてどうだった？」とたずねました。すると、みんな固い顔をしながら「集められてイヤだった」､「特別扱いしないでほしい」と、口々に言いました。ところが、最後のひとりが「わたしひとりでなくてよかった」と言いました。このひとことを聞いて、社会科学研究部（以下、社研）に在日コリアン生徒を集めようと思いました。そして、紆余曲折はあったものの、５人のうちの３人が入部してくれました。はじめのうちはハングルの勉強会をしていましたが、そのうち単なるダベリの会になりました。

ある時、Ｒさんという部員が「今日、こんなことがあった」と話してくれたことがありました。その前日、バレーボールの国際試合で日本と韓国が対戦し、韓国が勝ちました。翌日の教室でＲさんは「昨日、日本、惜しかったなぁ。なぁ、Ｒ」と友だちから言われたとのことでした。そしてＲさんは、「わたしな、『え？う、うん』と答えてん」と笑いながら続けました。

こんな会話もありました。「トックって知ってるやんなぁ？」､「うん、知ってる。お正月に食べる」､「そやけどな、中学の時に、まわりの友だちに『トック知ってる？』って聞いたら知らなかったんで、『スープにお餅を入れたもんやねん』って説明してん。そしたら『それ、トックって言わへんで、お雑煮って言うで』って言われてん」､「へー」。この生徒は、「トックではなくお雑煮」､「クッパではなく雑炊」とまわりの子らから教えられる中で、少しずつ自分の家のことをまわりに話さなくなっていったということでした。

こんな話を聞いた他の生徒は、ただ話を聞いていただけでした。きっと話をした生徒もなにかを望んでいたわけでなく、単に「あったこと」を話したかったんだろうと思います。

社研の活動をはじめる前年、Ａさんという在日コリアン生徒が「Ａ、焼肉、キムチ」という落書きをされ、このことをとりあげた学年集会を持ったことがありました。Ａさんにとって、落書きされたのは２度目でした。２度目はわたしたちに言ってくれたおかげでとりくみができましたが、１度目の時は、Ａさんはわたしの勤務校を退学したお兄さんに相談したとのことでした。お兄さんの答えは「学校に言っても、なんにもしてくれへん」だったとＡさんは教えてくれました。

社研での会話を聞きながら、Ａさんのことを思い出しました。そして、「もしも社研がなければ、みんなはこの思いをどこで誰に話したんだろう」と思いました。もしかしたら家族にだけ話したかもしれません。あるいは、家族にすら話さずに、自分ひとりで、そのモヤモヤを抱えていたかもしれません。そう考えた時、社研という場には、これまで考えていたような、単に「自分以外にも在日コリアン生徒がいる」ことを知る以上の意味があるということを実感しました。

この数年後、中国人生徒２人が入部してくれました。ある日、部室で２人が中国語で楽しそうに話をしているのをわたしは聞いていました。２人が笑ったので、わたしも笑いました。「せんせい、わかってるの？」「ぜんぜんわからへん」､「(笑)」。こんな小さな会話でしたが、ふだんこの２人が日本人に囲まれてどんな思いで生活しているのだろうと思わされました。と同時に、２人が中国語で会話できる場所が校内にあることがいかに大切であるかということも感じました。

社研では、日本人はわたし１人でした。そこで感じるなんとも言えないアウェイ感は、そのまま社研の生徒が日々感じていることなんだろうなと思いました。この感覚を味わえたことは、わたしにとって大きな学びでした。この社研での経験が、のちの京都在日外国人生徒交流会、そしてトランスジェンダー生徒交流会の原点だろうと思います。次号には、このふたつの交流会のことを書こうと思います。

BOOK GUIDE
今月のブックガイド

宗教の起源
私たちにはなぜ
〈神〉が必要だったのか

ロビン・ダンバー著　小田　哲訳
長谷川眞理子解説
白揚社
定価 3300 円（税込）

宗教とセクシュアリティ

旧統一教会（以下、統一教会）は、各地で性教育を妨害してきた。統一教会の妨害に遭ったという証言は数多い。統一教会に限らず、宗教の多くがセクシュアリティに対して保守的である。現代の日本で新宗教と呼ばれる教団の多くが多様性を認めていない。

なぜなのか。

そんな漠然とした疑問が、何時しか「宗教とは何か」、「宗教はいつ誕生したのか」、「人類はなぜ〈神〉を求めているのか」と膨らんできた。

そんな疑問に答えてくれそうだと感じたのが、本書である。

本の帯表に、「仏教、キリスト教、ヒンドゥー教、神道…　世界の主要な宗教はなぜ同じ時期に誕生したのか？　カルト宗教はなぜ次々に生まれ、人々を惹きつけるのか？」とあった。

帯裏には、「集団内に協力行動を生みだす信仰心も、集団の外に対しては反社会的行動の原動力となる。宗教的アイデンティティが国家に利用されるとき、悲劇は起こる。――フィナンシャル・タイムズ紙」とある。

著者のロビン・ダンバーは、オックスフォード大学進化心理学名誉教授、人類学者、進化心理学者で霊長類行動の世界的権威で、人間にとって安定的な集団サイズの上限である「ダンバー数」を導き出したことで世界的な評価も得ている人物であるという。

「宗教とセクシュアリティ」というタイトルを付けたが、該当する章や記述があるわけではない。しかし、本書を通読すると宗教とセクシュアリティの関係、なぜ多様性に否定的な宗教が多いのかが見えてくる。

10 章からなる本書の内容を追ってみよう。

第１章　宗教をどう研究するか

第２章　神秘志向

第３章　信じる者はなぜ救われるのか？

信じる者と信じない者の間で起こる様々なトラブル、差別、暴力。支配と被支配の構造が見えてくる。

第４章　共同体と信者集団

本書の著者ダンバーは、「ヒトの自然な共同体の大きさはおよそ 150 人」だという。ここでは信者集団結束と分裂について、そこから起きてくる支配と暴力。

続く「第５章　社会的な脳と宗教的な心」と「第６章　儀式と同調」では、帰属意識の元になる結束について、その心理学的、行動学的な土台について説明し、宗教における儀式の役割についての考察をおこなっている。

「第７章　先史時代の宗教」と「第８章　新石器時代に起きた危機」では、宗教がなぜ誕生したのか、なぜ人類だけが〈神〉をもっているのかを考察している。そして「第９章　カルト、セクト、カリスマ」では、様々な問題を起こしているカルト宗教について、歴史的に多くの事例をあげて、どのような問題が起きてきたのか、なぜ起きるのかを解説している。

最終章の「第 10 章　対立と分裂」には、「宗教は、突きつめれば知性ではなく感情の現象だからだ」というフレーズが出てくる。このフレーズを前後の文脈を無視して受け取るのは危険だが、宗教の一面を現していることは確かだろう。

さらに次のような一文もある。〈教団を拡大していくには、生まれた子どもを信者にすることが唯一にして最も重要な戦略だろう。なぜなら宗教やカルトのなかで育った子どもは、その精神を自然に吸収し、生涯にわたって影響を受けつづけるからだ。〉

ニュースになったいつかの宗教団体の「二世信者の問題」を思い起こさせる一文だ。

差別や偏見をもつヒトを産む宗教が、なぜ生まれるのかが、納得でき、理解できた。

（教育ジャーナリスト　日向野一生）

研究会、研修会等の情報を下記まで、郵送または、
Fax03-5801-6677 でお寄せください。
〒101-0051 千代田区神田神保町 1−3 冨山房ビル 5 階
日本性教育協会「JASE ジャーナル」係

日本性教育協会（JASE）移転のお知らせ

事務局と資料室を下記のとおり移転いたしました。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【記】

住 所　〒 101-0051　東京都千代田区神田神保町 1 － 3　冨山房ビル 5 階
電 話　03-5801-6788　FAX 03-5801-6677
Email　info_jase@faje.or.jp（変更なし）

東京メトロ半蔵門線／都営新宿線／都営三田線「神保町」駅A７出口より徒歩3分

★「JASE 性教育・セクソロジーに関する資料室」のお知らせ★

【開室日・時間】月～金曜日　しばらくの間 11: 00 ～ 17: 00
【新資料室の利用予約】必ず事前に電話で予約が必要です
TEL03-5801-6788

→資料室案内

3月25日刊行！

ピアカウンセリング 実践ガイドブック

ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会／髙村壽子　編著

◆B5判：160頁　頒価3000円（税込）

主な内容

第1章　なぜ、ピアカウンセリングなのか――主体的な生き方を支える健康教育の一方法

第2章　主体的な生き方を支えるピアカウンセラーの養成

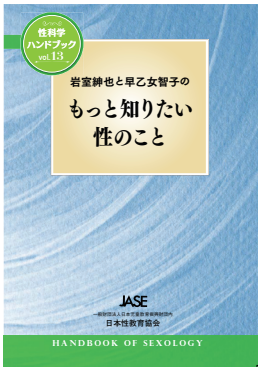
- 2-1　ピアカウンセラーになるために
- 2-2　カリキュラム展開の実際　Ⅰ
- 2-3　カリキュラム展開の実際　Ⅱ―セクシュアリティについて

第3章　主体的な生き方を支えるピアカウンセリング活動実践紹介――カウンセリング手法による性＝生の健康教育を中心に

中学校のピアエデュケーション（対面方式）、中学校のピアエデュケーション（遠隔方式）、高校のピアカウンセリング／ピアエデュケーション（ハイブリッド方式）、駅ナカ保健室（ピアカフェ）、教育支援センター（不登校適応指導教室）におけるピア活動、特別支援学校ピアエデュケーション、リフレッシュママクラス®、グループピアカウンセリング講座

第4章　コロナ禍におけるピアカウンセリング養成講座の評価

第5章　ピアカウンセリング活動を支えるしくみ／システム



好評発売中！　性科学ハンドブック Vol.13

岩室紳也と早乙女智子の もっと知りたい性のこと

岩室紳也・早乙女智子著

◆A5判：138頁　頒価700円（税込）

『現代性教育研究ジャーナル』2014年4月号～2017年3月号に連載した「もっと知りたい女子の性／もっと知りたい男子の性」に、加筆・訂正して再構成したものです。

主な内容

part 1　多様な性／「性」を科学する難しさ／女は女として生まれない／性別違和／ジェンダーバイアス・ジェンダーギャップ　ほか

part 2　女性の性／膣VAGINAはくぼみである／女子もします！　マスターベーション／人工妊娠中絶と女性の身体権　ほか

part 3　男性の性／「包茎」を科学する／男子はおちんちんで育つ／「男」は環境で育つ性／男性の性機能って何？　ほか

著者プロフィール

岩室　紳也／泌尿器科医。ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表。AIDS 文化フォーラム in 横浜運営委員。

早乙女智子／産婦人科医。公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター研究員、日本性科学会副理事長。セックスセラピスト。

※ご購入・送料等は、ホームページを参照してください。

◆JASE ホームページ https：//www.jase.faje.or.jp/pub/pub.html からお申し込みいただけます。
または、Email　info_jase@faje.or.jp
TEL 03-5801-6788　FAX 03-5801-6677

すぐ授業に使える

性教育実践資料集

中学校改訂版

〈主な内容〉

第１章　中学校における性教育（性教育を実践するにあたって／性教育の目的と意義）

第２章　性教育の実践（性教育の現状と実践の課題／学習指導要領における性教育の取り扱い／性教育の指導体制／指導計画の作成／性教育実施上の留意点／家庭・地域との連携／中学校の性教育の今後に向けて）

第３章　指導事例（各学年における指導計画と指導の流れ／８つの１年生の指導事例／６つの２年生の指導事例／６つの３年生の指導事例／７つの個別指導事例／５つの組織の指導事例）

第４章　参考資料（性行動経験率／性的なことへの関心割合／自慰経験率／性的関心の経験割合の推移／性へのイメージ／性感染症報告数の推移／梅毒患者報告数の推移／HIV・エイズ感染者の動向／人工妊娠中絶実施率及び推移／用語解説）

定価 2,200 円（税込）　B5 判・224 ページ

「若者の性」白書

第8回　青少年の性行動全国調査報告

〈主な内容〉

序　章　第８回「青少年の性行動全国調査」の概要

第１章　変化する性行動の発達プロセスと青少年層の分極化

第２章　青少年の性規範・性意識からみる分極化現象

第３章　家庭環境や親子のかかわりの違いは青少年の性行動に影響を与えるか

第４章　知識・態度・行動の観点からみた性教育の現状と今後の課題

第５章　青少年の性行動と所属集団の性行動規範

第６章　青少年の避妊行動の実態と包括的性教育の可能性

第７章　性的被害と親密性からの／への逃避

第８章　青少年の性についての悩み
～自由記述欄への回答からみえるもの～

定価 2,420 円（税込）Ａ５判・256 ページ

編／一般財団法人日本児童教育振興財団内 日本性教育協会　　発行／小学館

全国の書店にて、ご購入いただけます！